



新委員長の挨拶 「疾風に勁草を知る」



いしかり市民カレッジ運営委員長 山田 治己

平成21年4月にいしかり市民カレッジを開校し、13年目を迎えます。12年間で19,567人もの市民に受講いただきました。まさしく多くの市民のご理解とご支援の賜物です。しかし、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により講座の中止や延期を余儀なくされていますが、感染防止の対策を進めながらできる講座を実施してきました。今年も厳しい状況であることは変わりません。

標題の「疾風に勁草を知る」は中国の後漢書にある言葉ですが、激しい風が吹けば本当に強い草がわかる、困難に遭って初めて本当の強さがわかるという意味です。今のカレッジはまさしくこの状況といえます。学びを通じて市民の生きがいを高めるというカレッジの理念を継承し、これからも進めていきます。

7月以降の講座紹介～今後の状況により変更も

緊急事態宣言発令とその後の継続にともない、5月・6月に続き、7月の講座を一部延期いたしました。

- 【7月の延期講座】
- ・主催講座4「石狩歴史散歩～花畔地区、北生振・高岡地区」
 - ・主催講座5「大人の社会見学Ⅱ～篠津泥炭地開発を学ぶ(受講者提案講座)～」

今号では、7月から10月初めの講座を紹介しますが、今後も新型コロナ感染状況によって変更も考えられますので、事務局に確認の上お申し込みください。また、講座再開にあたっては、今まで同様コロナ対策を徹底して取り組みます。

受講の際は体調管理やマスク着用、検温その他の対策にご協力をお願いいたします。

講座6「三船殉難事件～忘れてはならない終戦後の悲劇～」

講師 映像プロデューサー 中尾 則幸

第1回 戦時下の樺太と真岡郵便局9人の乙女の悲劇

日時 8月19日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 三船殉難事件

日時 8月26日(木) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

1700人以上が犠牲となった事件をほとんどの日本人が知らない。戦後76年がたった今こそ、風化させてはいけない。北海道留萌沖の海上で樺太からの疎開者を主体とする日本の緊急疎開船3隻がソ連軍の潜水艦で1708名以上が犠牲となった事件を指す。多くの子供が犠牲になっている。

講座7「北海道の水産と漁村」

講師 北海道水産林務部 総務課水産企画係主査 石本 竜太

第1回 北海道漁業の動向と生産安定に向けた取り組み

日時 9月1日(水) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 水産物の消費流通動向と北海道漁業の未来

日時 9月15日(水) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第3回 漁業関連施設見学～北海道立総合研究機構水産研究本部(余市町)ほか～

日時 9月30日(木) 8:30～17:00 集合場所 石狩市公民館

北海道の漁業はニシン漁の隆盛や北洋漁業の伸展などにより大きく発展しましたが、200海里など国際的な漁業の縮小を余儀なくされ、さらに近年は水温上昇など海洋環境の影響により沿岸漁業にも大きな変化が起こっています。本講では北海道の漁業が辿ってきた歴史や直面する課題、これから目指すべき姿などについて講義いただきます。

市民カレッジデータ
(6月24日現在)

○登録者～124人
○連携団体～103団体



ロゴ制作者
丸山英里子さん

講座8「発展する石狩湾新港の役割Ⅱ」

講師 石狩湾新港管理組合担当者

第1回 北海道の国際流通を支える港湾の役割(現地) 日時 9月7日(火) 9:00~12:00

第2回 石狩湾新港地域の工場を見学しよう(現地) 日時 9月21日(火) 9:00~12:00

集合場所 石狩市公民館 受付 8:30~ 出発 9:00

北海道開発の一大プロジェクトとして、石狩湾新港は札幌圏の海の玄関として整備が進められている重要港湾です。平成6年には国際貿易港となり、輸出入総額は道内3位、コンテナ取扱いは道内2位の港湾です。LNG輸入基地が稼働し、北海道の物流とエネルギーを支える重要拠点となっています。

講座9「石狩を繁栄させた宝船～北前船～」

講師 石狩市郷土研究会事務局長 石黒 隆一

第1回 石狩の人々が待ちわびた宝船～生活を支えた下り荷

日時 9月28日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 石狩の経済を支えた上り荷～ニシン・鮭・サケなど

日時 10月5日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第3回 北前船ゆかりの地を訪ねて～石狩市本町地区、厚田区

日時 10月12日(火) 8:30~12:30

集合場所 石狩市公民館

市民カレッジでは以前北前船に関する講座を開催しましたが、一般的な話や北陸や小樽での活動についての話が中心で、石狩については殆ど触れていませんでした。今回は、石狩が北前船とどのような関わりを持っていたのか、また北前船が石狩にどのような繁栄をもたらしたかなど、石狩に焦点を当てて学びます。3回目には石狩における北前船ゆかりの現地を訪ねて学びを深めます。

講座10「仙台藩白老元陣屋資料館と苫小牧市美術博物館を訪ねて

～胆振管内の歴史と文化をめぐる～

日時 10月2日(土) 8:30~17:30

集合場所 石狩市公民館

先に「ウポポイ」をメインとした講座でご案内しましたが、コロナ禍の関係で手続きが困難な状況であり変更致しました。新講座の史跡白老元陣屋は幕末維新に幕府が諸外国との戦いを見据えて設置した蝦夷地最大の陣屋でその跡地と貴重な資料を見聞できます。苫小牧市美術博物館は平成25年に新装された博物館で苫小牧の自然、歴史、文化と美術作品を総合的に見聞できます。ご期待下さい。

まちの先生企画講座1「イチゴを摘んで手作りジャム作り」 *日程変更して実施

第1回6月30日(水)、第2回9月9日(木)とご案内していましたが、1回目はイチゴ摘みを行わず、8月30日(月)に変更します。2回目日程は変更なし。場所は石狩市花川北コミュニティセンター

まちの先生企画講座2「ダッチオーブンで作る野外料理」 *日程変更して実施

講師 新津 賢二 野菜香房

第1回 蒸す・燻す(燻製玉子) 7月20日(火)

第2回 焼く(石焼きいも) 7月27日(火)

第3回 煮る(アイスパイン) 8月3日(火)

全回 9:00 ~ 10:30 (現地集合・解散)

場所 野菜香房

緑苑台東1条2丁目29(緑苑台小学校前)

野外でも煮る・焼く・蒸す・揚げる・炒める・炊くの全てのアウトドア料理が出来てしまう魔法の鍋の魅力を、野菜香房オーナーシェフが3回に分けて伝授します。

緊急事態宣言の影響で、開催日を1週間遅くしました。ご了承ください。

まちの先生企画講座3「家庭菜園の土の健康診断をしてみよう」

講師 酪農学園大学名誉教授 松中 照夫

場所 石狩市公民館視聴覚室

第1回 よい土とはどんな土?～家庭菜園の土のチェックポイント4つ～ 9月3日(金)

第2回 土の厚みと硬さ、排水と水持ちの良否を調べる 9月10日(金)

第3回 土の酸性度(pH)と作物の栄養分の良否を調べる 9月17日(金)

第4回 家庭菜園の土を良い土にするための対策 9月24日(金)

時間
13:30
～15:00

家庭菜園の土が、作物を作るうえで良い土であるかどうかを判断する具体的なチェックポイントを提示し、各家庭菜園の土を持参して調べ、それをもとにして各自の菜園の土が良い土になるための対策を具体化します。
*第1回目は必ず参加することが必要

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

講座1「流通最前線の今を知る」

「いつも素晴らしい対応で講座を開催して下さいお礼申し上げます。コープさっぽろさんの歴史や経営方針を考察させて頂き感動致しました」「創立後幾多の挫折を経験しながら使命をしっかり踏まえ進んでいることが分かりました」「何となく持っていた私の知識がきちんと体系づけられて教えて頂き、改めて再認識でき、大変勉強になりました。ありがとうございました」

ボランティアスタッフ 募集！

いしかり市民カレッジには
あなたにふさわしい、やりがいのある
活動がきっとあります

例えば

講座の企画や実施、講座の宣伝
ポスターの掲示、運営に関する話し合い
情報紙の編集や発送作業、
ホームページの管理 など

スタッフは総務・広報グループか企画・事業
グループに所属して活動しています
グループの会議は月1回

ぜひ、一緒に活動しましょう！

まずは、グループ会議に見学参加しませんか

■お問合せ

いしかり市民カレッジ運営委員会事務局
(石狩市公民館内) TEL/FAX 0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)

石狩市公民館が 優良公民館表彰を受賞！

石狩市の生涯学習の拠点、そして、市民カレッジの活動の拠点である石狩市公民館は、いしかり市民カレッジをはじめ地域住民の学習活動に大きく貢献していることや特徴的な公民館活動の成果などが評価され、令和3年2月、文部科学大臣表彰「優良公民館表彰」を受賞しました。

これは、まちづくりに市民の主体性が発揮されている市民カレッジの活動と熱心に学ぶカレッジ生の姿が評価されたものだと言運営委員会一同嬉しく思っております。

石狩市公民館は令和4年3月31日をもって閉館いたします。これまで十数年間市民カレッジの活動拠点としていた公民館がなくなることはとても寂しいことですが、この受賞を励みにこれからも頑張っていきたいと思っております。

時々ホームページのチェックをお願い致します！

[いしかり市民カレッジ](#)

で検索

◇新型コロナ感染状況により講座開催を延期、中止など変更する場合は、必ずホームページでお知らせ致しますので、時々ホームページをチェックして頂きますようお願い致します。

◇閉じこもりがちのあなたにオススメのホームページの使い方～これまでの講座を掘り起こそう～
これまで掲載したホームページ記事は、すべて見る事が出来るのをご存知ですか？その手順は、まず左側コンテンツの「講座案内・申込」をクリック。次に「これまでの『主催講座』と『まちの先生企画講座』」をクリック。気に入った講座があれば、トップ頁下の「トピックス一覧はこちら」をクリックして探して下さい。但し開催日と掲載日は違っていますので、ご注意ください。

令和3年度会費更新手続きのお願い

今年度も新型コロナ感染拡大の影響で講座が延期になったため、年度会費の納入状況が例年より遅れています。カレッジ生の皆さまからの年度会費(1000円)は、カレッジ情報の提供や講座運営のための貴重な財源となっております。

まだ手続きのお済みでない方は、是非ご協力をお願いいたします。

納入方法 ◇公民館(事務局)へご持参いただく
◇郵便局で振込む(振込用紙 郵送済み)

新規カレッジ生募集中！

講義、現地学習、体験など多彩な学び

年度会費 1000円

受講料 1回 400円(一般 500円)

特典 カレッジ情報提供

学びの手帳交付(スタンプ獲得)

修了証(学びに応じてレベルアップ)

抽選の場合カレッジ生優先

その他 交流会など

問合せ 公民館(事務局)へ

チョコっと いしかり学

《16》

石狩遺産について(第4回)

石狩遺産の誕生と目的

石狩遺産プロジェクトM会長 安田 秀司

石狩遺産についてのお話も4回目を迎え、ここで石狩遺産誕生の経緯と目的などについて簡単にご紹介したいと思います。そもそもの始まりは、2013年11月にスタートした、いしかり砂丘の風資料館主催の市民参加連続ワークショップ「プロジェクトM」でした。毎月の例会と視察やイベント開催などの活動を継続し、石狩市におけるエコミュージアム（コアセンターを備えた地域まると博物館）の検討を2年ほど続け、まずはエコミュージアムの基本的要素となる地域資源の整理として「石狩遺産」の認定を進めることとなりました。

そこで、2016年度初めから準備を進め、その年の11月に市民参加のシンポジウムを開催し認定への検討を経て、最初の石狩遺産3件の認定となりました。さらに、2016年12月に市民団体として改めて会を立ち上げ「石狩遺産プロジェクトM」とし、事務局をいしかり砂丘の風資料館が担う形となって今に至り、現在会員は15名です。石狩遺産の認定件数は当会と市民団体からなどの推薦を含め、現在11件となっています。

石狩遺産の定義は「石狩市の歴史や文化、自然などが織りなす『未来へ引き継ぐ価値』を持つ事柄をひとまとまりのストーリーによってグループ化したもの」として、市内全域における価値ある資源を明確にし、全市民への認知を目指しています。それによって、石狩市民が郷土への誇りを持ち、自信と活力を持って活動し、また、石狩市に育つ子供たちが郷土愛を持てるよう願うものです。だからこそ、石狩遺産は市民が活用し、楽しんで初めて意味があります。市民への石狩遺産の認知はまだまだですが、じっくりと浸透を図っていきたいと思っています。



石狩の不思議 ～ 茨戸川に残る護岸ブロック

石狩市民図書館の裏側に「石狩川治水の祖」岡崎文吉の偉業を称える「花畔・銭函運河」の碑と岡崎式単床ブロックの解説とブロックを敷き詰めた展示物があります。

茨戸川（旧石狩川）は生振捷水路（昭和6年完成）ができるまでは大きく蛇行した原始河川の様相で、度々の洪水で大きな被害を受けるため石狩川治水が大きな課題でした。茨戸川右岸（生振側）堤防道路を歩くと、石狩川護岸工事起点・終点標が立っています。記録によると1916年（大正5年）着手、1917年（大正6年）竣工、延長1,548mとあります。干潮で水位の下がったタイミングで河岸を眺めると、大きくうねったすだれ状に敷き詰められた単床ブロックの護岸を見ることが出来ます。100年以上前の石狩川治水の遺構が現存しているのです。岡崎文吉は「自然主義の河川哲学」を実践した人でした。（詳しくは川の博物館「岡崎文吉コーナー」、「花畔ネット」参照）



《森 幸二》

編集後記

1年以上続く新型コロナウイルス蔓延があい風通信にも影響を与えています。

せっかく練った紙面構成も、緊急事態宣言で講座が延期になると忽ち記事の変更を余儀なくされます。抜けた紙面をどう埋めようか？

しかし編集委員の苦勞などたいしたことではありません。それより、興味を持って受けようと思った講座が延期になった時の受講者の皆さんの落胆こそ一番お気の毒です。「こんな時だからこそ皆さまに明るい記事を届けたい」編集委員も頑張ります！（JI）